



株式会社リンガーハット

証券コード:8200



作家:鈴木 強 作品名:宝船

株主・投資家の皆さまへ
リンガーハット

株主通信

Vol.21

第52期

2015年3月1日



2016年2月29日



リンガーフーズ
株式会社





株式会社リンガーハット
代表取締役会長兼 CEO

木濱 和英

TOP
INTERVIEW

QSC (品質・サービス・清潔)+V(ブランドバリュー) リンガーハットグループはオンリーワンの価値創造を目指します

積極的な姿勢で高収益を目指す所存です。

一方で当期は、「おいしく、安全・安心でヘルシー」という弊社ならではのバリュー（価値）が、ブランドイメージとして着実に浸透しつつあることに、数字以上の手ごたえも感じました。「日本の野菜の日キャンペーン」「日本の餃子の日キャンペーン」などの販促活動や、テレビの情報番組への露出が奏功したのに加え、商品力を強化いたしました。夏季看板商品として開発した「冷やしちゃんぽん」の新メニューを増強し、西日本エリアでは、安定確保が難しく、使用を見合わせていた国産きくらげをちゃんぽんや皿うどんの具材に復活させました。調理システムの改良にも取り組み、さらにおいしくなったと好評を得ています。味へのこだわりがお客様満足度を高め、ブランド価値を生み出すのです。

以上の結果、当2016年2月期連結累計期間の売上高は411億29百万円（前連結会計年度比7.8%増）、営業利益は28億34百万円（同26.4%増）、経常利益は26億81百万円（同21.2%増）となり、当期純利益は12億71百万円（同32.4%増）という増収増益を達成することができました。

■新しい業態の提案で新しい顧客を創造する
安全・安心で高品質な食の喜びを、より幅広い層

のお客さまにお届けするために、当期もさまざまな商品施策を推進してまいりました。3月には“おかずとごはん”をコンセプトにした新業態、「おかず屋 by Ringer Hut」の1号店、「おかず屋 by Ringer Hut イオンモール直方店」(福岡県直方市)をオープン。ごはんとお味噌汁にお好きなおかずを組み合わせたメニューを提供する業態は、栄養バランスの偏りがちな現代日本人に、健康的な食事を摂って頂きたいという思いから開発されました。いわゆるファストフード店が多い従来のフードコートにはない、新しいタイプの店舗として注目を集めています。

また、12月には「リンガーハット 新宿神楽坂店」(東京都新宿区)に、生ぎょうざ直売所「GYOZA LABO」を併設し、複合店舗としてリニューアルしました。「GYOZA LABO」は、100%国産素材を使った作りたての生ぎょうざをアーム型ロボットがピッキング・箱詰めし、お客さまにはその工程をガラス越しにご覧いただける新業態となっております。2016年4月には大型商業施設「セブンパークアリオ柏」(千葉県柏市)にも、SCのオープンに合わせて進出します。ぎょうざといえば、いまや日本の国民食ですが、私たちはこれを従来とはまったく違うイメージ——おしゃれなスイーツ感覚で召し上がっていただこうと、餡やチーズも入れたアレンジを加え、まるで洋菓

子店のような設えの店で販売する構想を検討しています。ちゃんぽん・とんかつの専門店として、いわゆる定番商品を磨き上げることが、当社事業の土台であることは変わりません。しかし、収益体質を強化するためには、現状に甘んじることなく、たえず新しい発想での商品やサービスの提案とともに女性を含めた新しい客層を開拓しながら、リンガーハットブランドの拡充、浸透を図る戦略も当然求められます。

■未来のために――

ブランドロゴ刷新と財団法人設立

リンガーハットグループは現在、新C I導入の一環として、ブランドロゴのリニューアルを進めております。すでに2015年11月より、長崎ちゃんぽん「リンガーハット」の新ブランドロゴを先行展開しました。「R」マークを象る三本の赤いラインは、飲食ビジネスの基本である「QSC」――Quality（品質）・Service（サービス）・Cleanliness（清潔）を表現しており、そのシンプルで力強いデザインは、食のグローバル企業

を目指す私たちのに相応しいものと自負しております。とんかつ専門店「浜勝」でも、店名の表記を「濱かつ」に変更した新ブランドロゴを2016年4月より順次導入。会長・米濱和英の直筆によるもので、「理念伝承」「温故知新」の2つのメッセージが込められています。

ブランドの価値や品格の高さが、それを守る企業の社会的責任の重さと表裏一体であることは論をまちません。ヨネハマホールディングス有限会社と株式会社リンガーハットは2015年9月、公益財団法人米濱・リンガーハット財団を設立いたしました。双方の資金の拠出により、大学院、大学、短大、高等学校等に学ぶ学生の育英事業、および文化・芸術・科学技術・スポーツ等の発展・普及を推進する事業を行います。その目的の達成をもって、ささやかなりとも地域・日本・国際社会の進歩に貢献できれば、これに勝る喜びはありません。

やるべきことをやるだけでなく、やり切る覚悟が求められるのは、本業も、社会貢献活動も同じでしょう。「QSC+V（ブランド価値）」の向上に全員参加で取り

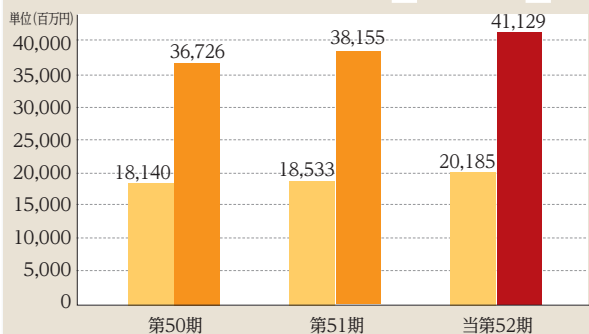


株式会社リンガーハット
代表取締役社長

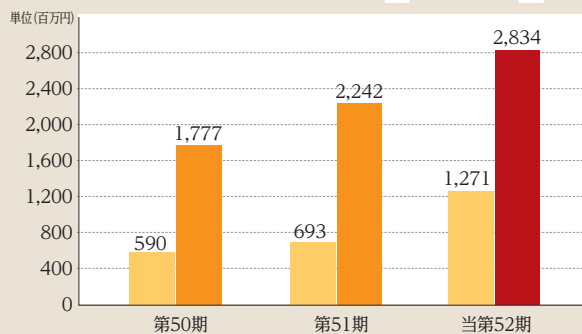
秋本英樹

組む、改革マインドにあふれた組織をつくり上げることで、適正な利益を確保しながら、社会的使命を全うし、株主の皆さまと共に企業価値向上に努めてまいりたいと存じます。引き続き、リンガーハットグループへのご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

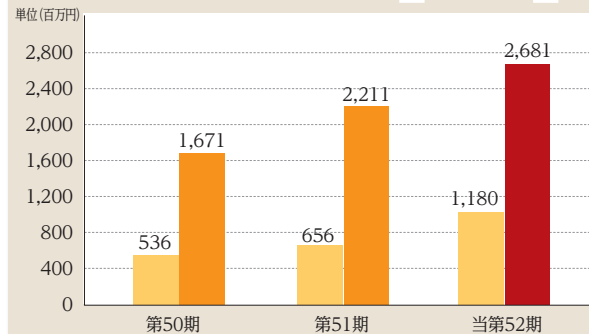
売上高



営業利益



経常利益





出店数が600店舗に到達 本年度も増収増益を達成しました

長崎ちゃんぽんリンガーハットについては、お客さまから寄せられる声に真摯に耳を傾け、より喜んでいただける商品を提供してきました。

健康に配慮した商品として「減塩長崎ちゃんぽん」や「野菜たっぷり食べるスープ」を提供し、夏季には、昨年新発売した「冷やしちゃんぽん」を白・黒・赤の3つのバリエーションに発展させました。冬季の定番限定商品「かきちゃんぽん」では販売地域ごとに4種類の味噌を使い分け、昨年好評だったトムヤムクン風も販売しました。

また、野菜国産化の際に、その安定確保が困難であったため採用を見合わせていた「国産きくらげ」を、西日本エリアの店舗で販売する「長崎ちゃんぽん」「長崎皿うどん」に復活させました。

これらの施策に加えて、商品品質アップを目的とした調理認定制度を実施し、さらなるお客さま満足の向上を図りました。

新規出店については、国内がショッピングセンターを中心に45店舗、海外では香港とタイそれぞれに3号店を出すなど計4店舗を出店しました。リロケートを含む退店は19店舗でした。この結果、当連結会計年度末の店舗数は600店舗（うちフランチャイズ店舗188店舗）となりました。

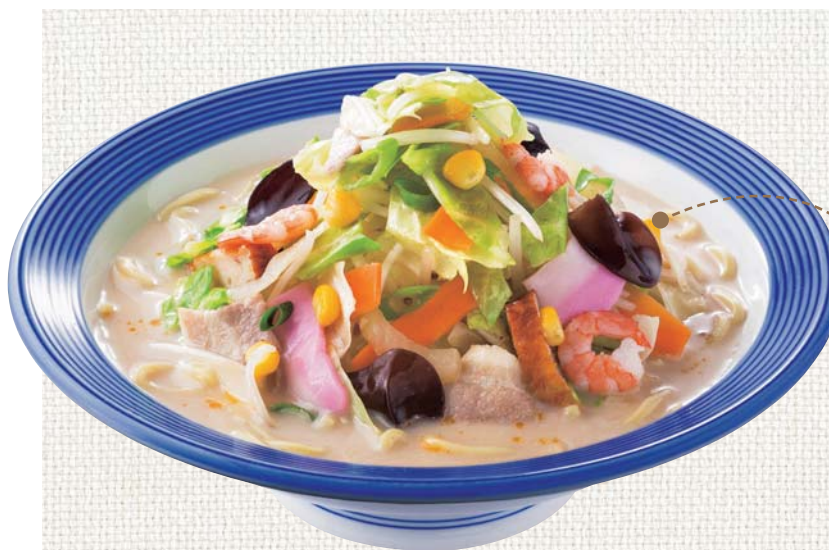
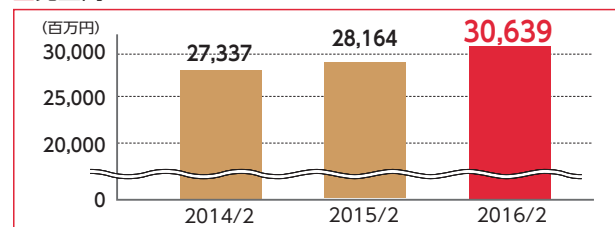
これらの施策により、既存店売上高前連結会計年度比は101.8%となりました。

以上の結果、売上高は306億39百万円（前連結会計年度比8.8%増）、営業利益は19億21百万円（同39.6%増）と、増収増益となりました。

2016年2月期

売上高……………30,639百万円
前年同期比……………108.8%

■売上高



こりこりした食感を楽しんでください！



国産きくらげ入り

野菜たっぷりちゃんぽん

日本の野菜が **1食 480g**



国産きくらげ入り

野菜たっぷり皿うどん

日本の野菜が **1食 367g**





国産きくらげ入り
野菜たっぷりちゃんぽん



国産きくらげ入り
野菜たっぷり皿うどん



冷やしちゃんぽん (白)



かきちゃんぽん



ぎょうざ



ちびっこ
ちゃんぽんセット

国産きくらげは実は希少なのです。



日本で流通するきくらげの大半は中国産などの輸入物。この度、鳥取県をはじめとした産地の協力を得たことで実現しました。

リンガーハット
日本の野菜の日

野菜たっぷりちゃんぽん
Qきょうざ3個
セット

野菜たっぷり皿うどん
Qきょうざ3個
セット

冷やしちゃんぽん
Qきょうざ3個
セット

野菜たっぷり食べるスープ
Qきょうざ3個
セット

税別 830円 税込 1本付 プレゼント

〇近くより店舗購入でございましていただきます。

国産きくらげ入りの野菜たっぷりちゃんぽん・皿うどんは、大好評の日本の野菜の日も提供しています。

リンガーハットのロゴが新しくなりました
ユニフォームもリニューアル！



長年親しまれてきた「赤いとんがり屋根」のロゴが生まれ変わりました。新しいロゴは、飲食ビジネスの基本「Quality (品質)」「Service (サービス)」「Cleanliness (清潔)」を、リンガーハットレッドの3本線で表しています。新しくなったロゴとともに、グループ 1000 店舗達成を目指していきます。



帽子・ベストの組み合わせがポップで楽しい新ユニフォーム。色彩のモチーフはちゃんぽんの具材。ナチュラルな緑色はキャベツを表しています。スタイリングも楽しめる、これまでにないデザインです。

カロリーや塩分・糖質控えめの商品が
健康志向のお客さまに好評



野菜たっぷり
食べるスープ



減塩
長崎ちゃんぽん



海藻めん
豆乳ヘルシーちゃんぽん

“健康”をキーワードにお客さまの声から生まれた商品が人気の新定番になりました。今後も皆さまから寄せられるご意見を大切にし、魅力的な商品の開発に取り組んでいきます。

新たなファン獲得を目指し
コラボレーションに注力！

アイドルグループやゲーム・映画とのコラボレーションを実施。長崎ちゃんぽん・皿うどんの魅力を、より多様なお客さま層に向けて、PRしました。



とんかつ 濱かつ とんかつ事業 HAMAKATSU

サービス品質の向上に取り組み 増収増益を達成しました

とんかつ濱かつについては、ビジョン「お客さまに楽しい食事のひとときを提供する」を掲げ、商品とサービスの品質向上に取り組みました。

商品施策としては、季節感を楽しめる限定商品を定期的に発売したほか、もう一品、お好みのかつをプラスしたいというニーズに応えて「おかわりかつ」を新たに導入しました。人気の高いランチメニューは本年度も引き続き提供いたしました。自家製手作りデザートがお客さまに好評を博し、売上・客単価の向上に寄与している「デザートビュッフェ」については、2015年12月オープンの赤坂店を含め、累計9店舗まで拡大しました。

お客さま満足向上の取り組みとしては、お膳による提供を既存店の一部と新店で導入。オペレーション効率を改善し、お客さま満足の向上を図りました。

濱かつにおいても、ブランド価値向上を目的とした新ロゴを策定。新年度より順次使用を開始していきます。

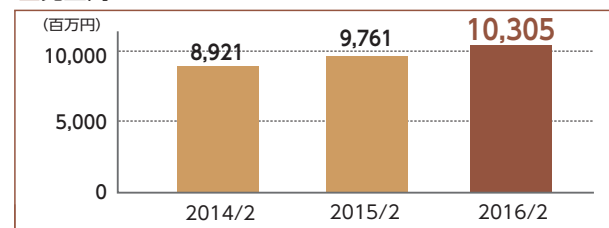
新規出店については、岐阜県など国内5店舗に加え、タイ（バンコク）へ初出店しました。リロケートを含む退店は3店舗。この結果、当連結会計年度末における店舗数は国内109店舗、海外2店舗の111店舗（うちフランチャイズ店舗18店舗）となりました。

これらの施策の結果、既存店の前連結会計年度比売上高が、2012年6月より45ヶ月連続で前年を上回る（当年度は前年比104.7%）など好調に推移し、売上高は103億5百万円（前連結会計年度比5.6%増）、営業利益は7億90百万円（同5.2%増）と、増収増益となりました。

2016年2月期

売上高……………10,305百万円
前年同期比…………105.6%

■売上高



桜香るミルフィーユかつ膳

桜とめんたいこを薄切りにした豚肉で巻き、さくさくした食感とともに、心地よい春の香りを楽しめる春限定商品。

濱かつランチ

お手頃価格でロースかつとチキンかつの両方を味わえる、ランチタイムの人気商品。ごはん・味噌汁・キャベツ・漬け物がおかわりできます。





浜勝スペシャル定食



バラエティかつ定食



盛り合わせかつ定食



ロースかつ定食



ヒレかつ定食



オランダかつ定食

「浜勝」から「濱かつ」へ ロゴとユニフォームも新しくなります

とんかつ
濱かつ
HAMAKATSU

創業50年を超え、次の100年に向けて「とんかつ浜勝」は「とんかつ濱かつ」に生まれ変わります。“濱”の文字は、創業者米濱の濱の文字です。創業の理念を未来へ向けて継承し、ブランドの「品格」をより一層高めていく決意を表しました。



これまでのユニフォームでも使われていた萌葱色はエプロンに採用し、濱かつの目指す「品格」と合わせたスタイリッシュなパンツスタイルに変わります。

エンタテインメントの名所、赤坂サカスの 目の前に、赤坂店が誕生しました

都心の新名所として定着した赤坂サカスを間近に望み、平日はビジネス・週末は観光目的で訪れたお客さまにご利用いただいています。

東京都区内では初となる、デザートビュッフェ併設店で、店内には常時10種類以上の手作りデザートを用意。ランチやディナーだけでなく、デザート&カフェ目当てのお客さまにも好評です。



とんかつ濱かつ
赤坂店



オープンキッチンを併設するデザートビュッフェ。手作りデザートが並びます。

株主さま待望の神奈川県出店復活！ とんかつ濱かつ 神奈川大和店

毎年約5,000通ものご返信をいただく株主アンケートの中で、株主の皆さまからの自由意見で最も多かったのが、「浜勝を神奈川県に出店してほしい」というご意見でした。

2012年4月以来、約3年半ぶりの神奈川県出店として、神奈川県大和市、外食店の激戦区である国道467号線（藤沢街道）沿いに神奈川大和店が2015年10月にオープンいたしました。

デザートビュッフェの併設はもちろん、小上がりの和室席や個室も備え、特にご家族連れのお客さまにご好評をいただいています。



とんかつ濱かつ
神奈川大和店



広々とした店内には、お座敷も設けました。

公益財団法人 米濱・リンガーハット財団設立 鳥取県・長崎県の学生生徒を支援

株式会社リンガーハットと当社グループ創業家のヨネハマホールディングス有限会社が共同で、未来ある若者の成長と地域社会の健全な発展に寄与するべく、公益財団法人米濱・リンガーハット財団を2015年9月に設立しました。

当財団は、大学院、大学、短期大学、高等専門学校および高等学校において学業に励む学生への支援、ならびに文化・芸術・科学技術・スポーツ等の発展・普及の推進を目的としています。

リンガーハットグループ創業者米濱家との縁が深い鳥取県・長崎県の学生や、鳥取県・長崎県内の高校等を卒業し、他都道府県の大学等に進学した学生に対し、経済的理由により修学の継続が困難である場合、奨学金の無償給付を実施します。



公益財団法人 米濱・リンガーハット財団 公式 HP
<http://yonehama-rh-found.or.jp/>

※公益財団の概要や、詳しい募集要項は財団公式ホームページをご覧ください。

生ぎょうざ直売所「GYOZA LABO」誕生 経産省ロボット導入実証事業に参加

経済産業省が主導する、ものづくりやサービス分野におけるロボット活用の促進を目的とした「ロボット導入実証事業」の支援を受け、店頭で生ぎょうざのピッキング・箱詰を行う、アーム型ロボットが活躍する「GYOZA LABO」が誕生しました。

先端的なロボット活用により、単純作業からの解放や自動化による生産性向上への貢献度合いを検証します。

2016年4月21日にオープンした「セブンパークアリオ柏店」(千葉県)ではGYOZA LABO 2号店を併設。生ぎょうざに加え、スイーツぎょうざを新発売しました。



GYOZA LABO
セブンパークアリオ柏店



出来上がった生ぎょうざを並べる作業を、人の代わりにロボットが担当します。人手不足の解消と生産性向上を図っています。



ぎょうざをお菓子感覚で楽しんでいただくことをコンセプトとした新商品「スイーツぎょうざ」。つぶあん・かぼちゃあん・さつまいもあんをご用意しました。

都内の小学校で 食育活動を行いました

親子で調理の楽しさや野菜の大切さを学んでもらう、リンガーハットの「myちゃんぽん」教室。これまで東京本社併設のキッチンで実施してきました。2016年2月には、東京都品川区の台場小学校にて、弊社キッチン以外では初となる「myちゃんぽん」教室を開催。小学1～6年生の親子29組が参加しました。



日本のおいしいキャベツを タイの4店舗でお客さまに提供

2015年12月から、タイの4店舗で使用するキャベツを日本産のものに切り替えました。これは、キャベツの長距離輸送時の鮮度低下を最小限にとどめる輸送方法「CAコンテナ」の導入により実現しました。今後は段階的にその他の野菜も日本産への変更を予定。タイのお客さまに、日本の野菜を使った、より本来の味に近い長崎ちゃんぽん・皿うどんをお楽しみいただけるよう取り組んでいきます。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当連結会計年度 2016年2月29日現在	前連結会計年度末 2015年2月28日現在	差異
資産の部			
流動資産	3,902	4,103	△ 200
固定資産	21,925	21,838	87
資産合計	25,828	25,941	△ 113
負債の部			
流動負債	7,861	7,713	148
固定負債	6,796	6,362	434
負債合計	14,658	14,075	582
純資産の部			
純資産合計	11,169	11,866	△ 696
負債及び純資産合計	25,828	25,941	△ 113

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ1億13百万円減少し258億28百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億45百万円減少したことや、未収入金が1億80百万円減少したことによります。

負債は前連結会計年度末に比べ5億82百万円増加し、146億58百万円となりました。これは主に、社債が11億72百万円増加したことや、短期借入金が6億20百万円増加したこと及び長期借入金が9億85百万円減少したことによります。

純資産は前連結会計年度末に比べ6億96百万円減少し111億69百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.5ポイント減少し43.2%となりました。これは主に、自己株式が14億51百万円増加したこと及び繰越利益剰余金が8億78百万円増加したことによります。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 2015年3月1日から 2016年2月29日	前連結会計年度 2014年3月1日から 2015年2月28日	差異
売上高 [※]	41,129	38,155	2,973
売上原価	12,891	12,187	703
営業総利益	28,237	25,967	2,269
販売費及び一般管理費	25,403	23,725	1,678
営業利益	2,834	2,242	591
経常利益	2,681	2,211	469
当期純利益	1,271	960	311

※売上高にはその他の営業収入を含めています。

出店政策については、北陸地方で初となる石川県、富山県への出店と、海外3か国における5店舗の出店を合わせ、55店舗を新規出店しました。一方で、不採算店やリロケートにより22店舗を退店した結果、当連結会計年度末では、国内で700店舗、海外で11店舗、合計711店舗（内、フランチャイズ206店舗）となり、前連結会計年度比33店舗の増加となりました。

売上高については、食の「安全・安心」への関心の高さ、地道な食材国産化の取り組みによるブランドイメージの向上などにより、純既存店売上高は前連結会計年度比102.5%となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は411億29百万円（前連結会計年度比7.8%増）、営業利益は28億34百万円（同26.4%増）、経常利益は26億81百万円（同21.2%増）、当期純利益は12億71百万円（同32.4%増）と、2期連続で過去最高の売上高と利益額を更新しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当連結会計年度 2015年3月1日から 2016年2月29日	前連結会計年度 2014年3月1日から 2015年2月28日	差異
営業活動による キャッシュ・フロー	3,185	2,971	214
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,866	△ 1,739	△ 127
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,491	△ 878	△ 613
現金及び 現金同等物の 期首残高	1,857	1,474	382
現金及び 現金同等物の 期末残高	1,711	1,857	△ 145

営業活動の結果得られた資金は31億85百万円（前連結会計年度比7.2%増）となりました。これは主に、税金等調整前利益が6億88百万円増加したこと等によります。

投資活動の結果支出した資金は18億66百万円（同7.3%増）となりました。これは主に、設備投資で23億48百万円支出したこと等によります。

財務活動の結果支出した資金は14億91百万円（同69.9%増）となりました。これは主に、自己株式の取得によります。

以上の結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1億45百万円減少し、17億11百万円となりました。



（後列左より）

社外監査役
山内 信俊

社外監査役
上野 守生

常勤監査役
内田 智明

リンガーハット
ジャパン(株)
執行役員
熊 秋利

執行役員
川内 辰雄

執行役員
岡野 弘明

リンガーハット開発(株)
代表取締役社長
山口 雅彦

リンガーファーズ(株)
代表取締役社長
鎌田 武紀

執行役員
山崎 繁樹

執行役員
井原 康晴

執行役員
中島 吉弘

執行役員
小田 昌広

執行役員
杉野 隆宏

執行役員
種川 浩之

リンガーハット
ジャパン(株)
執行役員
若杉 茂雄

（前列左より）

取締役最高顧問
米瀨 鉦二

取締役
福原 扶美勇

取締役副社長
前田 泰司

代表取締役
社長
秋本 英樹

代表取締役
会長兼CEO
米瀨 和英

専務取締役
八幡 和幸

取締役
佐々野 諸延

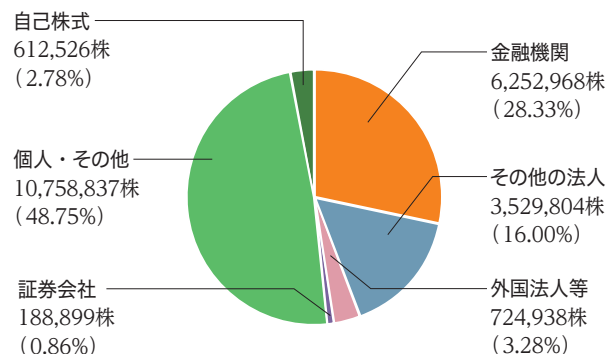
社外取締役
川崎 享

社外取締役
金子 美智子

株式の状況

発行可能株式総数	46,000,000株
自己株式数	612,526株
発行済株式総数	22,067,972株
株主数	25,009名

所有者別分布状況

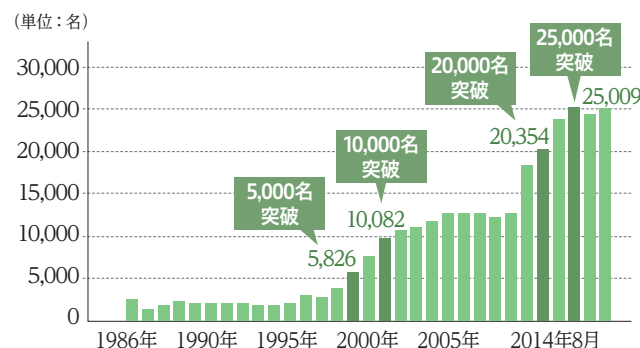


大株主一覧

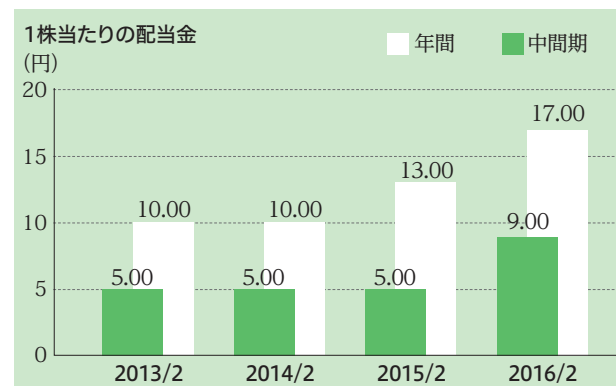
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4）	1,031	4.81
株式会社十八銀行	1,005	4.68
第一生命保険株式会社	629	2.93
公益財団法人米濱・リンガーハット財団	600	2.80
株式会社三菱東京UFJ銀行	535	2.49
アサヒビール株式会社	527	2.46
株式会社ハチパン	511	2.38
株式会社福岡銀行	348	1.62
麒麟麦酒株式会社	332	1.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	292	1.36

※ 日本トラスティ・サービス信託銀行の所有株式は、証券投資信託等の信託業務に係る株式です。
 ※ 株式付与型ESOP信託導入に伴い、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与型ESOP信託口）が取得、保有する当社株式89,657株は、自己株式には含めておりません。

総株主数



これまでの配当実績



株主優待について

毎年2月と8月の末日現在の株主名簿に記載または記録された株主さまへ、お持ちの株数に応じて「食事ご優待券」を贈呈いたします。
 時期はそれぞれ5月末および11月末頃（年間2回）を予定しています。
 上記「食事ご優待券」は、「リンガーハット」の店舗だけでなく「濱かつ」や「長崎卓袱浜勝」（長崎市）でもご利用いただけます。なお、お近くにご利用店舗がない株主さまには、「食事ご優待券」と引き換えに自社製品をお送りいたします（ただし、引き換えは優待券5枚以上、引き換え期間は6～9月、11～1月限定とさせていただきます）。

券売機店舗での「食事ご優待券」ご利用時には、食券をご購入される前に店員までお声かけください。



株主メモ

事業年度……………毎年3月1日～翌年2月末日

期末配当金受領株主確定日……………2月末日

中間配当金受領株主確定日……………8月末日

定時株主総会……………毎年5月開催

株主名簿管理人……………

特別口座の口座管理機関……………三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先……………三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 TEL. 0120-232-711（通話料無料）

上場証券取引所……………東京証券取引所（第1部）、
 福岡証券取引所 ※証券コード8200

単元株式数……………100株

公告方法……………電子公告によりこれを行います。但し、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して公告します。
 ※電子公告掲載アドレス
<http://www.ringerhut.co.jp/>

株式に関する手続きについて

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
■ 特別口座から一般口座への振替請求 ■ 単元未満株式の買取（買増）請求 ■ 住所・氏名等のご変更 ■ 特別口座の残高照会 ■ 配当金の受領方法の指定※ ■ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. 0120-232-711 （通話料無料）

※ 特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
■ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. 0120-232-711 （通話料無料）
■ 上記以外のお手続きやご照会	証券口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

リンガーハット オンライン ショップ

お届け先1件につき
ご注文合計金額が
**4,300円(税込)以上で
送料無料**
4,300円(税込)未満の場合は
別件送料・全国一律1件につき
880円(税込)となります。

お店のおいしさ、お取り寄せ



作りたての麺や具材を鮮度を落とさずに冷凍パック！
お店と変わらぬ味をお楽しみいただけます！



ギフトとして

- 長崎ちゃんぽん・長崎うどん
各3食セット
3,672円(税込)
- 野菜たっぷり ちゃんぽん4食
3,272円(税込)
- チャーハンと長崎の味セット
3,808円(税込)

ご自宅用に

- 長崎皿うどん
4食セット
2,160円(税込)
- 長崎ちゃんぽん
4食セット
2,160円(税込)

ホームページで公開中

野菜レシピ

長崎ちゃんぽん・皿うどんに、旬の野菜を“ちよい足し”して、もっとおいしく楽しむレシピを紹介。ぜひお試しください！

5月はアスパラが旬。甘みと香りの良いものをちよい足し！

ご注文方法



お電話で

0120-307-490

受付時間：平日9:00～17:00



インターネットで

リンガーハットオンラインショップ

検索

<http://www.rhk-shopping.jp/>

パソコン、スマートフォン、携帯電話からご利用いただけます。

・電話でのご注文の場合、お支払い方法はコンビニ振替か代金引換のみとなります。
・オンラインショップでは株主優待券はご利用いただけません。

ご贈答に長崎の味「和華蘭」を

五島列島の名産品 かんころ餅

古くから副食として、また冬の保存食として五島列島で親しまれている「かんころ餅」。無農薬で生育されたサツマイモを手間をかけて干しあげ、もち米と練り合わせた自然食品系スイーツとも言える逸品。ほのぼのとした自然の風味をお楽しみください。



和華蘭ギフト オンラインショップ
<http://www.wakaran.jp/>

会社概要



株式会社リンガーハット

● 会社名(英文名)

株式会社リンガーハット(RINGER HUT CO., LTD.)

● 設立

昭和45年6月13日(創業 昭和37年7月22日)

● 資本金 5,066,122,834円

● 主な事業内容

長崎ちゃんぽん専門店「リンガーハット」、
とんかつ専門店「濱かつ」のチェーン展開

● 従業員数(連結ベース)

正社員 / 496名
リンガーメイト・スター(パートタイマー・アルバイト) / *4,607名

*パートタイマー・アルバイトの人数は年間の平均人員(1名=1ヵ月166時間労働換算)で表示しております。

● 店舗数(全711店舗)(2016年2月29日現在)

北海道・東北地区.....18店舗	中国・四国地区.....38店舗
関東地区.....274店舗	九州・沖縄地区.....248店舗
中部・東海地区.....65店舗	海外.....11店舗
関西地区.....57店舗	

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基
づき、より多くの人に見やすく読みまちがえに
くいデザインの文字を採用しています。

